

# 未来からの留学生に参加して

教育学部2年  
中田尚紀

10月15日、教育学部では毎年恒例の「未来からの留学生」（略して未来留）という地域交流イベントを行いました。未来留とは、教育学部の学生たちが自分の所属する研究室で、様々なイベントを行い、地域の子もたちと交流するというものです。今年度も多くの子もたちと保護者の方々にご来場いただき、大盛況となりました。

僕が所属している教育研究部の2年生は毎年、「おはなしの国」というイベントを行っており、今年も「おはなしの国 2017」という題目で、ダンス、レクリエーションゲーム、劇を行いました。劇は昔話の「わらしべ長者」を現代風にアレンジし、子どもから大人まで楽しめ、参加できる、笑いと学びのあるものとなりました。演者である僕ら自身も楽しむことができ、子どもたちとの関わり方など多くのことを学ぶことができました。今回の未来留の経験を来年の教育実習に活かしていきたいと思います。

教育学部3年  
山崎敬太郎

今年の未来からの留学生で、教育学部技術研究室では「紙パックでランプシェードを作ろう！」という講座を実施しました。この講座は、紙パックを切ってLED等と組み合わせることで簡単なランプシェードを作ってもらおうといったもので、技術の基本である「ものづくり」の概念に慣れ親しんでもらおうといった思いで開設しました。低学年の子もには保護者同伴での参加をお願いしていたこともあって、当日は親子での参加がほとんどでした。

紙パックを切るのが難しい箇所では親子で協力しながら製作を行うなど、講座を通して家族のコミュニケーションが行われている場面も見られました。講座の立案や準備など、全てひとりで行っていったので当日まではとても大変でしたが講座当日やってくれた子どもたちの「できた！」や完成した時の「すごい！」といった声が聴けて、ものづくりの楽しさに触れてもらうことができたのかなと嬉しく思いました。



折り紙マンとゆかいな紙々



ポランディア説明

実行委員会 宮崎英一

2017年10月15日に、第16回「未来からの留学生（公開18講座、自由参加12講座）」を開講。講座を担当した学生は早くから準備に取り掛かり、前日遅くまで準備に追われていました。当日は、担当講座において生き生きとした表情で児童・生徒と触れ合っていました。「未来からの留学生」での実践を通じて、普段の講義や学校参観とは異なった、より身近な場面での体験を得ることが、今後の教師としての大事な経験になると改めて確認致しました。



「おはなしの国 2017」全体写真



レクリエーションゲーム



エンジョイスports教室



万華鏡を作ってみよう



レッツエンジョイイングリッシュ

## EVENT PHOTO



11月10日が「希少糖の日」に登録されました

これを記念して、高松丸亀町老番街前ドーム広場で制定記念式典が開催され、片岡都雄国際希少糖研究教育機構長が出席。同時に開催されたマルシェには、希少糖含有シロップを使用した商品が並びました。



平成29年度 「さくらサイエンスプラン」

今年、ブルネイ・マレーシア・ミャンマー・タイ・ベトナムから合計10名の教員・研究者・学生等を招へい。近年ASEAN 諸国で問題となっている生活習慣病に対して日本の成功事例について学んでいただきました。



The 3rd Annual English Presentation Contest

寛学長、山下理事のスピーチで始まったコンテスト。入賞者1部（留学生と留学経験1年以上の日本人学生）の1位は Gana Pranomya さん、2部（その他の日本人学生）の1位は本田菫さんでした。



大地震想定 幸町キャンパス総合防災訓練

幸町キャンパスに所在する全部局が参加し学長をはじめとする役員、教職員及び学生合わせて537人が、災害発生から初期消火、避難、伝達、応急手当などの訓練を実施し、災害時にとるべき行動を再確認しました。



県内初、弾道ミサイル想定 林町キャンパス住民避難訓練

本学の学生や地域住民など約250人が参加。ミサイルが四国上空に飛来するとの想定のもと、防災行政無線から放送が流れると、参加者は一斉に建物内に避難。身をかがめて体を守るなどの避難行動を行いました。



博物館特別展 「バングラデシュ国境沿いのエスニックマイノリティの世界」

バングラデシユの少数民族であるクミ民族とムロ民族の暮らしを紹介。民族衣装や生活用品を展示しています。16日には、ムロ民族のマンラン氏によるミュージアムレクチャーも行われました。